

敦賀市立松陵中学校 保護者の皆様へ

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の対策

【国語】

【正答率が良好であった設問】

行書の特徴を踏まえた書き方を理解している。



【問題】

「夢」を行書で書いたときの特徴について、「くさかんむり」の部分で筆順の変化があることを捉える。

【課題が見られる設問】

提示されたスピーチ原稿のどの部分を、どのような意図で、どのような工夫をして読むかという問題

【問題】

「オンラインであっても、相手が話したことに相づちを打ったり…」

というスピーチ原稿について、聞き手を引きつけるために、どのような表現の工夫をするか。

【考察】

言葉の抑揚や強弱、間のとり方等の表現の工夫の仕方と、そのようにする意図が十分理解されていないと思われる。

【対策】

表現を工夫することによる効果を確認し、実際に話す活動を増やしていく。

【正答率が良好であった設問】

差が4である2つの偶数との和は、4の倍数であることがいつでも成り立つことを説明できる。

【問題】

n を整数とすると、差が4である2つの偶数のうち、小さい方の偶数は $2n$ 、大きい方の偶数は $2n+4$ と表される。それらの和は、

$$2n + (2n + 4) =$$

【課題が見られる設問】

【問題】

下のア～エまでの表は、yがxの一次関数である関係を表している。この中から変化の割合が2であるものを1つ選びなさい。

xの増加量2						
x	…	-6	-4	-2	0	2
ア	y	…	-11	-7	-3	1

xの増加量2 yの増加量4						
x	…	-6	-4	-2	0	2
イ	y	…	-5	-3	-1	1

yの増加量2 xの増加量2						
x	…	-6	-4	-2	0	2
ウ	y	…	-2	-1	0	1

xの増加量2 yの増加量1						
x	…	-6	-4	-2	0	2
エ	y	…	-7	-4	-1	2

yの増加量3						
x	…	-6	-4	-2	0	2
エ	y	…	-7	-4	-1	2

【考察】

「変化の割合」は

$$\text{変化の割合} = \frac{y \text{ の増加量}}{x \text{ の増加量}}$$

で表され、「 x が1増加したときの y の増加量」である。

変化の割合の意味が十分理解されていないと思われる。

【対策】

表の関係から式を作ったり、グラフをかいたりする活動を多く取り入れ、式・表・グラフが表していることを関連付けて説明するような機会を多くつくる。

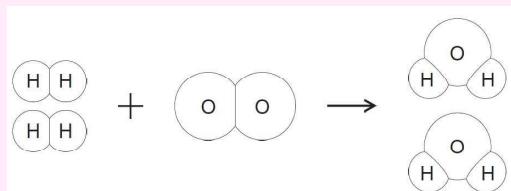
【理科】

【正答率の良好であった設問】

分子のモデルで表した図を基に、水素の燃焼を化学反応式で表す。

【問題】

温暖化の原因として考えられている二酸化炭素を出さない燃料として、水素が使われました。下の分子のモデルで表した図を参考にして、水素の燃焼を化学反応式で表しましょう。



- ア) $4 \text{H} + 2 \text{O} \rightarrow 2 \text{H}_2\text{O}$
イ) $\text{H}_2 + \text{O}_2 \rightarrow \text{H}_2\text{O}$
ウ) $2 \text{H}_2 + \text{O}_2 \rightarrow 2 \text{H}_2\text{O}$
エ) $\text{H}_4 + \text{O}_2 \rightarrow \text{H}_4\text{O}_2$

【課題が見られる設問】

【問題】

図2のように、ばねにのせたおもりが静止したとき、矢印で表したおもりにはたらく重力とつり合う力を、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

また、選んだ力の説明として適切なものを、下の力からヶまでの中から1つ選びなさい。

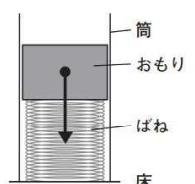
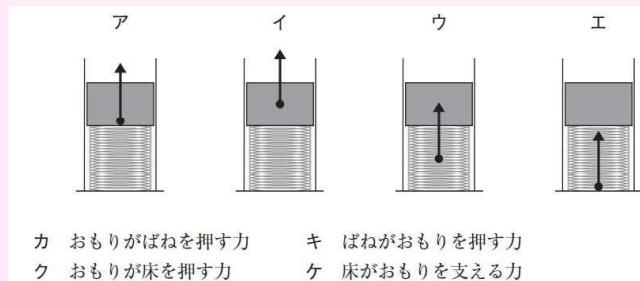


図2 おもりにはたらく重力



【考察】

力を表す矢印の意味を理解し、情報を整理して、解を導く力が必要である。

「つり合う力」の特徴として、①一直線上、②向きが反対、③大きさが等しい、という法則がある。

選択肢でエは、おもりとばねを支える力なので、大きさがちがう。

イ、ウの矢印は、方向、大きさは合っているが、作用点が違っている。

アが「おもりにはたらく重力」とつり合う力である。

【対策】

「力」に関して、作図のルールを徹底する。

また、

○何が何に力を及ぼしているのか

○作用点はどこか

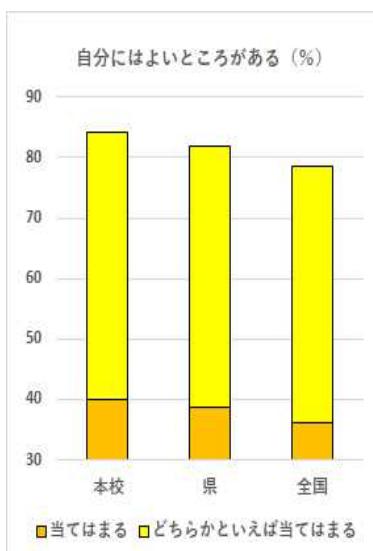
○重力と垂直抗力

について、重点的に学習していく。

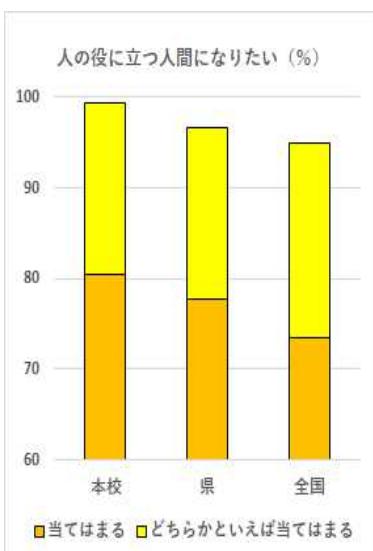
「質問紙調査」からわかる本校の課題です。
全部で69項目ある内、県平均、全国平均を基準として、本校の良い点、気がかりな点についてお知らせします。

○良い点

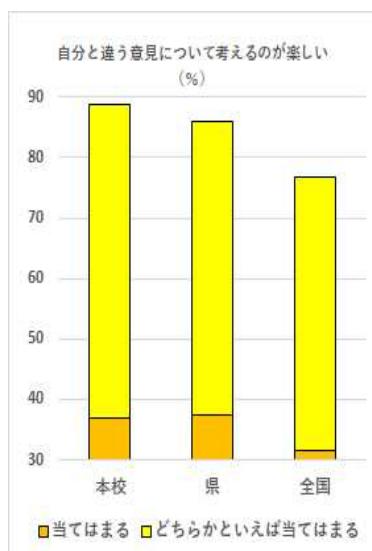
- 自分にはよいところがある。



- 人の役に立つ人間になりたい。



- 自分と違う意見について考えるのが楽しい。



【結果から】

「当てはまる」、「どちらか」というと当てはまる」、「どちらか」というと当てはまらない」、「当てはまらない」の四択の回答において、「当てはまる」、「どちらか」というと当てはまる」と答えた生徒の数の比較です。

本校の生徒は、家庭や学校生活の中で自分の良さを認識し、人の役に立つ人間になろうとする意思を持ち、人の意見を参考にして様々な活動に取り組んでいることがうかがえます。今後も生徒に寄り添い、支援してまいります。

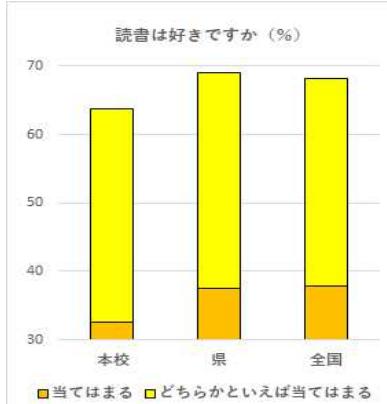
○気がかりな点

【課題】

- ・読書が好きな生徒の割合

【対策】

- ・国語の授業、学級活動等で、読書活動の充実を図る。
- ・図書委員会主催で校内読書週間、校内読書集会を開催し、読書習慣の定着を図る。
- ・家庭と協力し、読書習慣の定着を図る。



学力・学習状況調査の結果は、3年生だけでなく、全学年に共通することもいくつかあります。

良いところはさらに伸ばし、課題に対しては対策を立て、学校全体で取り組んでいきます。

各ご家庭におかれましても、ご理解・ご協力をよろしくお願ひいたします。